

事務連絡
令和2年5月20日

荒川水系（埼玉県域）
減災対策協議会
担当者様

国土交通省関東地方整備局
荒川上流河川事務所副所長（技）

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難等の取組参考資料の送付について

平素より水防業務に関しまして、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年5月12日付事務連絡「令和2年出水期を迎えるにあたっての「大規模氾濫減災協議会」の運用について」を通知させていただいたところですが、通知の中の「1.（2）連携体制の構築及び協議会での共有事項について」に記載の感染症を踏まえた避難等の取組に関し、通知以降に関係省庁や各種団体等から発出された参考資料等について情報共有致します。

記

●【内閣府防災：R2.5.15付】

「新型コロナウイルス感染症が収束しない中における災害時の避難について」（添付資料1）
→以下の内閣府防災の事務連絡（送付済）に基づく住民周知用のチラシ

R2.4.1付事務連絡「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」

<http://www.bousai.go.jp/pdf/korona.pdf>

R2.4.7付事務連絡「避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について」

http://www.bousai.go.jp/pdf/hinan_korona.pdf

●【参考資料】「避難の考え方（新型コロナウイルス感染症）案」（添付資料2）

→上記の内閣府防災の事務連絡の解説目的で四国地整が作成したパワーポイント

■【災害情報学会：R2.5.15付】避難に関する提言

http://www.jasdis.gr.jp/_src/JASDIS_Proposal20200515-1.pdf

■【避難所・避難生活学会：R2.4.15付】「COVID-19 禍での水害時避難所設置について」

<http://dsrl.jp/wp-content/uploads/2020/04/e71a82466613b9099214ec979b766135.pdf>

■【NPO 法人環境防災総合政策研究機構：R2.5.14付】

「新型コロナウイルス感染症流行時の災害と避難環境を考える手引き（地方自治体編）」

<http://www.npo-cemi.com/covid-19/livingwithcorona.pdf>

■【阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター】

「新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時レポート vol.1 避難所開設での感染を防ぐための事前準備チェックリスト ー手引き版ー Ver.2」

http://www.dri.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/sp_report_vol1_ver2.pdf

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、**危険な場所にいる人は
避難することが原則**です。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。**安全な親戚・知人宅に避難すること**も考えてみましょう。
- **マスク・消毒液・体温計が不足**しています。できるだけ**自ら携行**して下さい。
- 市町村が指定する**避難場所、避難所が変更・増設**されている可能性があります。災害時には**市町村ホームページ**等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。やむをえず**車中泊**をする場合は、浸水しないよう**周囲の状況**等を十分確認して下さい。



今のうちに、 自宅が安全かどうかを 確認しましょう！



ハザードマップ

検索

避難行動判定フロー

スタート!

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

*ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として*、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

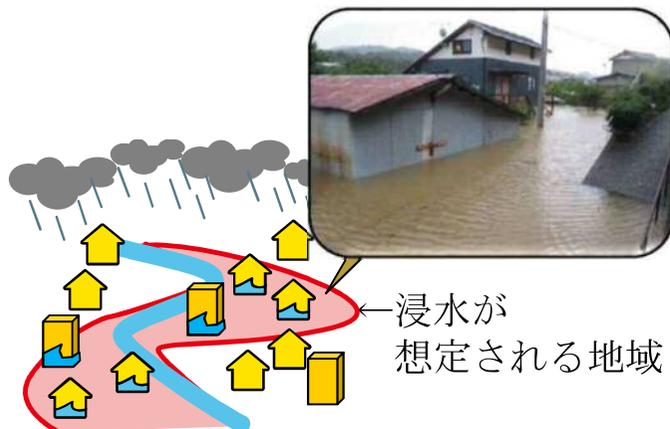
1. 災害が想定される地域では ためらわず避難行動を

2. 命を守るための緊急的な 避難場所も選択肢に

3. 避難場所での 感染症対策の徹底

事前にハザードマップ等を確認

・浸水が想定される地域

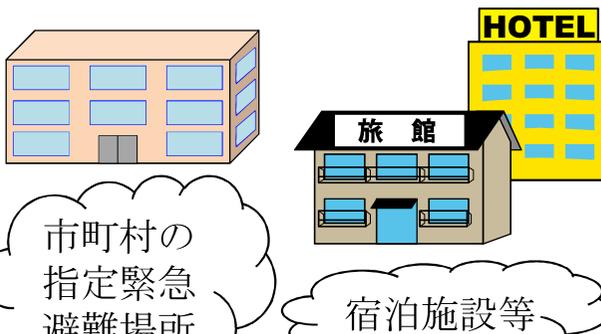


←浸水が
想定される地域

・土砂災害が想定される区域



←土砂災害が
想定される区域



市町村の
指定緊急
避難場所

宿泊施設等



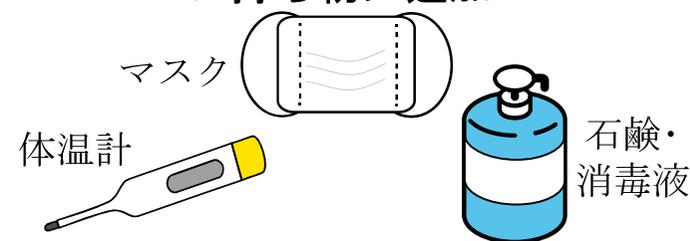
自宅

親戚、
友人の家

※頑丈な建物の高い階や
浸水が想定されない地域等

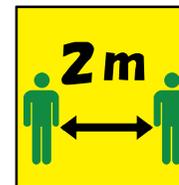
手洗い・消毒の徹底
定期的な検温・症状チェック

✓持ち物に追加



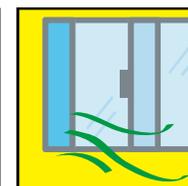
3密を避ける
(密閉・密接・密集)

2 m以上の
距離を保つ



背中
合わせ

・段ボール等
で間仕切り



換気

・発熱等の
症状がある
人のための専用スペース

※避難行動・避難生活に必要な物(食料(最低3日分)・衛生用品等)は、自助として各自で準備しましょう。

36.防災活動支援事業

近年頻発、激甚化する自然災害等に備えるため、地域で組織されている自主防災組織の活動費等の一部を支援。また、地方公共団体が、避難所の衛生環境を保つため、消毒薬等の資材を避難所に備蓄するための経費に充当。



緊急時
対応段階

継続・回復
段階

個人 事業・団体 施設・地域

地域団体・中間支援組織

収束後

【目的】 公共空間での感染機会を削減したい

【主な関連】 総務省消防庁国民保護・防災部防災課

